

リトルバスターズ！EX 同人小説

『
鈴
誕
』

(Web 公開版)

TTM 2013

「……！……さん！」

うーん……。

「……さん！ 神北さん！」

……？ 声が聞こえる……。

聞き覚えのある声……さーちゃん？

「さーちゃん……？ おはよー」

ちよっとだけ目を開けて目の前にいる女の子の姿を確認する。やっぱりさーちゃんでした。大当たり……。

むにや。

「もう、起きて下さいな神北さん！ 今日は早起きしてやりたい事があるのでしよう！？」

「……？ 早起きー？」

「め・え・るですわ！ 送るのでしよう？ 棗鈴に、お誕生日のメールを！」

「……」

ふえ？ りんちゃん……める……？

あ！

「ふわあつ！ そうだったメール！ メール送るんだった！」

ふえええ……そうでした。今日はりんちゃんのお誕生日なので、おめでとうメールを送る予定だったので……！

昨日寝る時にさーちゃんにもそのお話をしてもし明日わたしが早起きしなかったら起こしてもらおう約束をしていたのでした。

……あれ？ なんで早起き？

「！ さ、さーちゃん！ えと、いま何時！？」

「六時半ですわ。きつと棗鈴のことでしょうからまだ寝ていますでしょうし、今ならあなたの望みどおり彼女が寝ている間にメールを送れるのではないかしら」

「そ、そっかー、よかつた〜……」

よかつた〜……。今送れば間に合うね。

そうなんです。

りんちゃんが眠っている間にメールを送っておいで、りんちゃんが起きた時にびっくりさせてあげよう！ という私のたくらみがあったのです。

でも、日付が変わる時間まで起きているのはお肌にも体にも良くないので、朝ちよつとだけ早起きして、メールを送る事にしていました。

よーし、すぐに送っちゃおー！

「……あれ、あれあれ？」

「ほら、携帯こつちに転がってますわよ」

「あ、ありがとうさーちゃん」

えーと、今回はどんな絵文字使おうかなー……。

「……あ、そうださーちゃん、さーちゃんはりんちゃんに送らないの？」

「え……わたくし、彼女のアドレスは存じておりませんの……」

「あ、そうなんだー……」

なんだかさーちゃん、さみしそうです……。

「あ！ そうだ、さーちゃん、りんちゃんに何か渡したいものつてある？」

「お渡ししたいもの……？」

「誕生日プレゼント！ だよ！」

いつもケンカばかりしちやってるお友達でも、プレゼントを貰えたら、きっと嬉しいよね。

「あ、チャイムだ。じゃあねーりんちゃんっ」

「うー……うーみゆ……」

うう……今日は朝からてんやわんやだ……。

朝起きたらみんなから誕生日おめでとうメールがいっぱい届いてて、学校に来たらみんながお祝いしてくれた……。

嬉しい……すごく嬉しい。

でも、頭がぼわぼわして、変な感じ……。今さっきまでこまりちゃんにずっとハグされていたからかもしれない。それも、嬉しい事だけ。

去年までは、理樹とか謙吾（と真人）とか、バカ兄貴くらいとしかお誕生日を祝っていなかったから……。こんな感覚初めてだ。

バカ……兄貴。

恭介の退院は、もう少し先らしい。

そういえば……今までいつも真っ先にあたしの誕生日を祝ってくれたのは、あいっだった。

朝出会えば暑苦しいくらいに絡んでくるし、なにより日付が変わった瞬間に、メールが入っている。（あたしが気づくのはいつも朝になってからだったけど。）

今年、メールは来なかった。

……当たり前か。あいつは今病人なんだ。今までたくさん無茶してきた分、自分の体を治す事が一番大事なんだ。夜更かしなんて絶対ダメだ。お医者さんだって許さないだろうそんなことは。

グーツ！ グーツ！

その時、あたしの携帯が鳴った。

今日は朝から色々あってぼーっとしてしまったけれど、もうすぐ授業が始まるから携帯を切らないといけないのを忘れていた。

しかし、誰からだ？ こんな時間に……。

そう思いながら差出人のディスプレイ表示を確認したあたしは、まるで何かに突き動かされるように携帯を開いた。

9/2 08:36

from: きょうすけ

sub: おめでとう!

もう学校始まる時間だよな。ギリギリですまん!

鈴、お誕生日おめでとう!

朝飯の後に急に検査が入っちゃってな、こんな時間になっちゃったぜ……
(-_-;)

今年は誕生日にお前に会えなくてマジで悔しいぜ。お前も理樹も、すげえ頑張ってくれたからな……!

今年の誕生日は盛大に祝ってやりたかったが…今はこのメールだけで許してくれ。ゴメン。

でも、俺の退院の予定、このままなら早くなりそうなんだ!

お前達とまた遊べる日が今から楽しみだぜ!

メール長くなっちゃったけど、理樹達も元気か? あいつらにもよろしく伝えておいてくれ!

じゃ! 授業がんばれよ! (^_^)b

「……だから、まずは自分の体を治すのが先だと言ってるんじゃないか……！」
もう滲んで何が書いてあるのかもわからない画面に、あたしの涙が滴り落ちた。

「りんちゃん、はいこれ！ グローブ！」

「うにやつ！？ こまりちゃんからのプレゼントはこの前ももらったぞ……？？」

「あ、これは私からじゃなくて、ちよっと遅くなっちゃったけど、さーちゃんからのお誕生日プレゼントなのです！」

「ささみ！？ あいつ、あたしの誕生日知ってたのか……」

「えっとね、この前さーちゃんとお話した時に、りんちゃんのお誕生日のお話したんだよー そしたらね、これを渡して欲しいって！」

「そ、そうなのか……」

本当はりんちゃんのお誕生日プレゼントを薦めたのは私だけけど、間違っていないよね？

さーちゃんは、自分の予備のグローブを、りんちゃんへのプレゼントとして用意しました。

りんちゃんに伝えたい言葉も添えて……。

「あ！ そうそうりんちゃん、さーちゃんからの伝言も預かってたんですよ！」

「あいつから、伝言……？」

「うん、えーとね……」

さーちゃんの言葉を思い出す。

えーと……。

『わ、わたくしのグローブを差し上げますわ。これはあなたにはもつたいないくらいの上物ですよ。……あ、べ、別にあなたが特別だから上物を渡したという訳では……！ とにかく、これを使ってせいぜい頑張ることですわ！』

……えーと、結局さーちゃん、なにが言いたかったんだらう？

「……こまりちゃん？ あいつ何て言ってたんだ？」

「あ、うん、えっとね、『がんばってー！』だってー！」

「あいつが……か」

グローブを握りしめながら、りんちゃん。

「……嬉しい。ありがとう……ありがとうって、あいつに伝えてくれ！ こまりちゃん！」

「うん！ わかったよー！」

りんちゃん、すごく喜んでくれたみたい。

りんちゃんからさーちゃんへの、『ありがとう』の言葉。

これをさーちゃんに伝えたら、さーちゃんもきつと喜んでくれるよね。

これで、いつかりんちゃんとさーちゃんも仲良しになっただらいいなあ……。

そしたら、私も嬉しい！

あとがき

こんにちはお久しぶりです。担担麵です。

今回もギリギリ突貫でコピー本こさえました！ 出発まであと二時間半です（笑）

今回は、去る九月二日の鈴の誕生日に考えていたSSが予想以上のボリュームになってしまい、当日中の完成が望めなくなってしまったので、だったら近日中に開催されるイベントでまた無配のコピー本にしちゃおう！ という経緯で制作に至りました。N（なんだか）Y（よくわからない）コピー本、第二弾の誕生日です。

○小毬と佐々美

今回もこまささをたくさん書きました。なんだかこまりんの寝起きネタを何度も書いています……楽しいです……。

うちのこまりんは本当にのほほんとしていますね。そして前向きで。マイナスな要素をすんなりとプラスに変えてしまうその性格も、なんだか魔法みたいに思えてきます。佐々美様と鈴が仲良くなったら、この子は心の底から喜んでくれると思います。

○棗兄妹

恭介は、これからも毎年、鈴に誕生日メールを送ると思います。

鈴の方も成長して、恭介に誕生日メールを送るようになってきたらいいなあと思います。恭介は多分泣くのではないでしょうか。

○今後の予定

年内イベントは冬コミに申し込みました。

十月の鍵点は、私生活との兼ね合いで、まだ参加を迷っております。

参加できる場合は、今回収録し損ねたもう一本のお話を書きたいと思えます。

それでは、また次回お会いしましょう！

二〇一三年九月十四日 担担麵

TTMのNYコピー本第二弾。

『鈴ちゃん、お誕生日おめでとう!』

リトルバスターズ! EX 同人小説
『鈴誕』
(Web 公開版)

2013年10月16日発行

発行人：担担麵

発行：TTM

Web: <http://emotionaltrain.web.fc2.com>

Mail: emotrain1@gmail.com

TTM Little Busters! EX Fanbook-EX
"Nandaka Yokuwakaranai coPy-book 2"